

学校マネジメント

目標達成マネジメントツールの一層の活用

[取組事例] 国東市立国東小学校、児童数227名、別府教育事務所管内

ポイント

学校教育活動における家庭、地域の協働を進めるために推進プロジェクトを組織して活用

1. 取組の内容

○学校経営全体構想

学校経営の構想の中に、学校教育目標とともにめざす5つの像を策定し、それを実現するために、家庭・地域の協働を推進するプロジェクト（地域連携推進プロジェクト）を、学校教育活動の中に位置づけている。

平成28年度 学校評価の4点セット

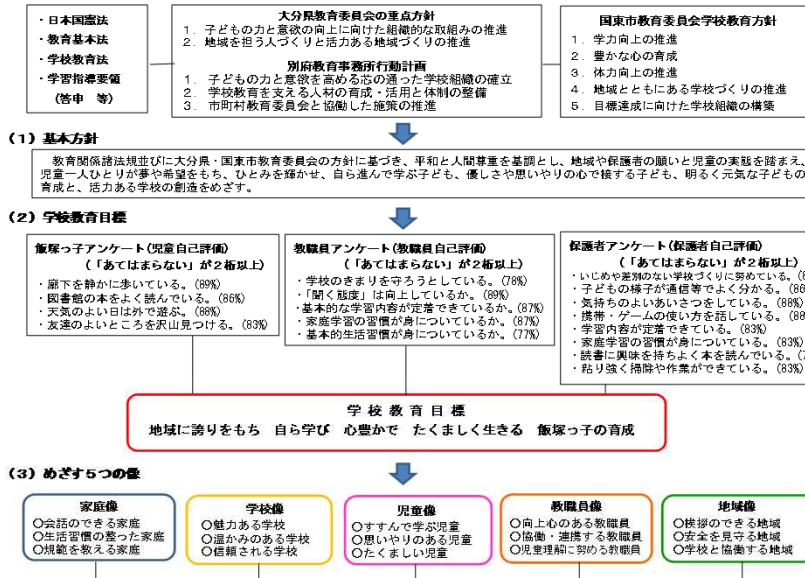
[1学期]

学校名 国東市立国東小学校

【学校の教育目標】		地域に誇りをもち 自ら学び 心豊かで たくましく生きる飯塚っ子の育成							
重点目標	担当	達成指標	達成状況評価	分担	重点的取組	取組指標	取組状況評価		改善点
							1学期		
確かな学力の向上	学力向上・地域連携推進プロジェクト	①期待値を超える単元達成率を70%以上にする。 ②国東市学力調査において全層差値50を超える学年・教科の割合を50%以上にする。 【昨年値】 ・全国調査(6年生) 未達成 <算数A,理科> ・県調査(5年生) 未達成 <英語活用> ・市調査(全学年) 2年算 達成 5年国 達成 6年国 達成 (19%)	学校	①授業改善5点セットと国小スタンダードの徹底を図る。 ②個に応じた指導時間の確保と充実を図り、活用力を高める取組を行う。 ③学習規律の徹底を図る。	①全教員が年間一回以上単元を貫く言語活動と振り返りを位置づけた授業を行う。 ①全職員がKタイム(月・木8:15~8:35、金⑥)に複数体制で指導を行う。 ②全学年がオリジナル種合型図書カードを活用し、学期に一回以上図書活用指導を行う。 ②全学年が毎週水曜日の1・2時間目に国語を位置づけ、集食後に内容の聞き方チェックを行う。	①全教員が年間一回以上単元を貫く言語活動と振り返りを位置づけた授業を行う。 ①全職員がKタイム(月・木8:15~8:35、金⑥)に複数体制で指導を行う。 ②全学年がオリジナル種合型図書カードを活用し、学期に一回以上図書活用指導を行う。			
		③くじきっ子学習十九家の重点指導項目を80%以上に達成する。	家庭	①家庭学習の習慣づけを行う。	①全家庭が学期1回の家庭学習強化中間実施率100%にする。	①地域の先生(GT)として全学年1・2学期に1回以上授業・クラブ活動支援に入る。 ③学びの学習サポーターとして40回(水30・土10)学びの教室を実施する。			
		④くじきっ子学習十九家の重点指導項目を80%以上に達成する。	地域	①積極的に学校支援を行う。					
豊かな心の育成	生涯指導・地域連携推進プロジェクト	①自分から進んではっきりと言葉で声かけができる児童の割合を80%以上にする。	学校	①おはよう、ありがとうの声かけ運動を行う。	①児童会役員による麻の声かけ運動を行う。				
		②「さしすせ」掃除ができる児童の割合を80%以上にする。	学校	①清掃活動の充実を図る。	①全職員で掃除場所に入り、「さしすせ」掃除の徹底を図る。				
		③VS活動を通して行う児童の割合を80%以上にする。	家庭	①情報モラル(スマートフォン等)の約束を守らせる。	①児童会、栽培委員会の取組として「にこにこの花」ちょボラカードを提示する。				
健康・体力の向上	体力向上・健康推進プロジェクト	①運動や外遊びが好きと答える児童の割合を70%以上にする。 【昨年値】 ・運動や外遊びが好き 68%	学校	①情報モラル(スマートフォン等)の約束を守らせる。 ①積極的に挨拶運動を行う。	①国東中学校区共通の「ネット機器のきまり」を家庭で提示し、親子で守る。 ①登下校で出会った時にあいさつをする。				
		②体力運動能力調査において全国平均以上の項目を全体の70%以上に達成する。 【昨年値】 ・96項目中59項目達成 61%	家庭	①ふれあい体力づくりに取組む。	①国東市健康チャレンジの取組を保健部で推進し、週に一回以上親子体力づくりを行う。				
		③地域での遊びの様子をボランティアとして見守り、支援を行う。	地域						

※評価規準:A(100%)、B(80以上100%未満)、C(50以上80%未満)、D(50%未満)

平成28年度 学校経営全体構想



(5) 色ある取組



(4) プロジェクトチームによる学校教育活動の推進

ひとみかがやく「飯塚っ子」を育てる 4プロジェクト

学力向上推進プロジェクトの重点取組

- 授業改善5点セットと国小スタンダードの徹底
- 個に応じた指導時間の確保と充実(Kタイム)及び活用力の向上
- 学習規律の徹底(姿勢、聞く・話す)
- 図書活用促進の質的向上

生徒指導推進プロジェクトの重点取組

- 声かけ運動(あいさつ・ありがとう等)の推進
- 「さしすせ」掃除の徹底
- 「人権の花運動」「ちょボラ運動」(ちょっとボランティア)の推進
- 情報モラルの徹底

体力向上推進プロジェクトの重点取組

- スマイルタイムの継続的な運用と意欲化を図る工夫
- 体育授業での基礎体力づくりタイムの導入
- 家庭での体力づくりの推進

地域連携推進プロジェクトの重点取組

- 学校だけでなく、ホームページ等積極的な情報発信
- クラブ活動や授業での地域人材活用
- 読み聞かせや学びの教室の計画的実施
- 地域行事への積極的参加と公民館活動との連携推進

2. 取組についての評価等

- 家庭、地域の主体性を持たせるために、家庭、地域の願いをもとに目指す家庭像、地域像を共有し、地域連携プロジェクトを立ち上げたことで、家庭、地域の意識が高まってきている。
- ゲストティチャーや学習サポーターだけでなく、読み聞かせや学びの教室等幅広く地域人材の活用を行っている。
- 地域人材を活用するための情報収集をするとともに、地域人材活用プログラムを作成し、共有を図っている。